

なすび

第45号

目次

1p 年度末を迎えて
1p~4p 部活動、行事報告

今後の予定
編集後記

栃木県那須学園
〒329-2132
矢板市沢800
TEL 0287-43-0573
FAX 0287-43-6886
メール nasu-gakuen
@pref.tochigi.lg.jp
発行日 令和6年3月26日

～年度末を迎えて～

厳しい冬の寒さも和らぎ、梅の花もほころび始め、日ごとに春の訪れを感じるようになりました。時間が過ぎるのは早いもので、いつの間にかもう中学三年生の卒業の時期です。今年度も多くの子ども達が那須学園を巣立っていくことでしょう。卒園生達が今後、健全で充実した生活を送れることを祈って送り出します。



◎一年を振り返って

園長 大島 登

冬から春暖の候へと日差しが強さや暖かさが感じられるようになってきました。同時に令和五年度も終わりに近づき、中学三年生を中心に学園を離れ新たな生活を迎える季節になりました。

今年度の児童数は二〇名を超え、子どもたちの賑やかな会話も耳にできる状況です。

昨年中に新型コロナウイルスが感染法の五類へ移行したこともあり、学園の行事等はコロナ前のように実施され、子ども達の歌声もようやく聞くことができるようになりました。

学園での子ども達は、規則正しい生活を送りながら、自分の課題と向き合い、仲間とともに成長を続けてきました。寮や学校での指導や仲間との関わりの中で、他者との接し方をはじめ様々なことを身につけ、多岐にわたる活動や体験を通して、精神的な逞しさも培われてきたと感じます。

学園の子ども達は、時期によって異なる部活動に参加しており、得意な種目にはいきいきと楽しく、不得意な種目であっても粘り強く取り組むことで、新たな興味・関心が芽生えるなど、自分自身の特性に気がつきつけられています。

そして、これらの活動の成果を示す場として各種大会が開催されています。

今年度は、関東地区で予定されていた野球（六月）、水泳（八月）、バ

レーボール（一〇月）、文化祭（十一月）、卓球会（十二月）というすべての大会等に参加することができ、群馬、埼玉、横浜、茨城など県外へ出て大勢の児童の中で競技・発表する機会が得られました。女子バレーボールでは約二〇年ぶりに優勝を果たすなど、子どもたちの自信に繋がったと思います。

また、分校とも協力しながら、遠足、海浜学校、修学旅行、スキー教室等を実施し、子ども達にとっては貴重な経験を積むことが出来たと思います。

地域や関係機関の方々とは、運動会、学園祭、クリスマス会などを通じて交流の機会を設けています。運動会は今年度開催見送りとなりましたが、学園祭とクリスマス会では多くの方に学園にお越しいただき、クリスマス会では保護者の方々にも学園の状況や子ども達の成長の様子を見ていただくことができました。

子ども達にとっては、ここでの生活や行事の一つひとつが貴重な体験であり、それらに真剣に取り組む姿勢を身につけることは大変重要な意味があります。寮や学校での生活を通じて仲間や職員との関係を積み重ね

ねる中で、信頼関係や自信を持てるようになる点も価値あることだと感じます。子ども達がここで過ごした時間が、この先の人生を夢や希望を持って力強く生きていくための一助になることを願ってやみません。

☆部活動報告☆

☆バレー部

昨年度の「準優勝」という嬉しくもあり、悔しい気持ち胸に始まったバレー部。心を一つに「優勝」を目指して練習してきました。思うような結果が出ずに悩んだ時期もありました。そのような時はキャプテンを中心に話し合いを重ね、どうしたらいいのか仲間同士で意見を出し合い、試行錯誤を繰り返してきました。

そして迎えた大会当日。緊張感は最高潮に。初めは緊張で身体が思うように動いていませんでしたが、徐々に自分たちのバレーが出来始めてからは、勢いに乗ることが出来ました。結果は予選から決勝まで、一セットも落とさず、「完全勝利」。見事に二〇年ぶりに優勝を果たすことが出来ました。勝利の瞬間の子どもたちの歓喜する姿、そして監督めがけて駆け寄ってくる光景が、今も目に焼きついていきます。



☆見事二〇年ぶりの優勝を果たした
部員から、生の声をお届けします。
Aさん

あの日の涙。あの日のミーティング。あの日の苦しい練習。チームが崩れかけた時もありましたが、だからこそ一丸となって大会に臨むことが出来ました。チームの心は一つ。目指すものも一つ。そして手にした「優勝」という勳章。とても良い経験をさせてくれた仲間、先生方、本当にありがとうございます。

Bさん
「優勝」。この言葉にたくさんの思いが詰まっていると思います。キャプテンという大役を任せられ、失敗することや上手くいかないことがたくさんありました。そんな色々な経験が出来たこのチームの仲間と大会に出場し、優勝できたことをとても嬉しく思います。優勝に導いてくれた監督、チームのみんな、「ありがとうございます」。

Cさん
那須学園で初めてバレーをした私は、不安がたくさんありました。しかし後半になると出来ることが増えて楽しくなり、練習にも意欲的に参加出来ました。心が折れそうになりながらも仲間と協力し、励まし合いながら立ち向かっていきました。大会当日。何戦もしましたが、緊張と不安からいつものプレーが全く出来ませんでした。「優勝」を二〇年ぶりにして、すごく嬉しいけれど、私の中では、後悔が残ってしまいました。

た。それでも今仲間に伝えたい言葉は、「ありがとうございます」です。
Dさん

バレー大会では、思っていたよりも緊張しませんでした。しかし試合が始まり、サーブが全然入らず、悔しかったです。その中でも仲間が支えてくれ、最終的にはサーブが決まるようになり、すごく嬉しかったです。私はセッターを任されています。大会中は周りが良く見えていた気がします。大会では二〇年ぶりに優勝することが出来て嬉しかっただけではなく、良いチームワークが出来て、とても楽しく終わることが出来ました。

Eさん
私はバレーを通して、チームワークというものを学びました。優勝出来た喜び、そしてチームプレイの難しさと楽しさを感じることが出来ました。正直、辛い練習もありましたが、仲間と一緒にいたからこそ、乗り越えられたと思っています。仲間に感謝したいです。



☆吹奏楽部

今年度の吹奏楽は、宇都宮ジャズフェスティバルの鑑賞、関東少年文化祭、マロニエウインドオーケストラさんとの合同練習会、クリスマス会での演奏、更生保護女性会さんと地域の方々へのコンサートと、盛りだくさん。そして多方面の多大な協力や、サポートや応援をいただきながら、活動することができました。挑戦した曲は、「糸」「ブラジル」「世界に一つだけの花」「きよしこの夜」「明日があるさ」です。今年のメンバーは、無限の可能性と、光輝くセンスと、やる気と、努力と諦めない力と、担当者からの無理難題でも快く引き受けてくれる優しさ、自由時間まで練習する向上心がありました。大人達の熱心なサポートもあり、上達の早さに「えっ?この子(この先生)、実は天才なんじゃないの?」と驚きの連続でした。大人と子どもと一緒に、真剣に取り組んで作り上げる那須学園吹奏楽部。素敵な演奏、癒やしと感動をありがとうございます。一生懸命やってくれた子ども達と、関わってくれた皆様に感謝いたします。

☆卓球部

十二月九日に第六四回関東少年卓球大会がありました。今年度は女子も参加し、男女一緒に全員卓球で挑戦しました。しかしながら、今年度はレベルがすごく高く、個人戦、団体戦ともに優勝には手が届きませんでした。ちなみに、団体戦は男女ともに埼玉県にある児童自立支援施設の「埼玉学園」が優勝しました。全員が悔しさをバネに、午後の個人戦に挑みました。一戦一戦を大事に、そして一生懸命戦いました。しかし、健闘空しく優勝には手が届きませんでした。男子は水泳大会が終わってからの三ヶ月間、女子はバレーボール大会が終わってからの一ヶ月間という短い期間での挑戦でしたが、卓球の楽しさ、難しさ、そして悔しさなどを経験できたのではないかと思います。大会が終わった後も日曜日の自由時間は卓球をして遊んでいていきます。今後も卓球に親しんでくれたらと思います。



☆行事報告☆

☆修学旅行（中学生）

十月三十一日～十一月二日
奈良・京都方面への修学旅行は三日間とも快晴で、新幹線からの富士山も絶景でした。一日目は奈良公園へ行き、東大寺を見学しました。大仏様の大きさに驚き、「鬼門」の方角である東北の柱の穴をくぐり、「厄除け」も行いました。また、今回の宿は琵琶湖の畔にあり、朝に散策などもしました。二日目は昨年度と異なりバスを問わず、全員タクシーでの行動でした。事前学習で調べた北野天満宮では、高校受験に向けて合格祈願。金閣寺、龍安寺、清水寺では、御利益の良い場所など運転手が詳しく案内し、車中でも他の寺社仏閣の説明など有意義な時間でした。最終日は、駅前にある京都タワーから京都周辺を一望しました。関西の文化や文化財に触れることができ、教室では得ることの出来ない学びをすることが出来ました。



☆里芋・さつまいも収穫

十一月六日・十三日

十一月六日、十三日に、里芋・サツマイモの収穫を行いました。春先に植えた里芋は順調過ぎる程に成長し、出来栄えが心配されるところでしたが、たくさんの里芋が収穫出来ました。また、サツマイモ掘りでは、直前まで蔓や葉が緑色で心配されましたが、いざ掘り出すと、巨大なサツマイモが次々に現れ、子どもたちは一心不乱に格闘していました。苦労の末、無事掘り出すことができて満面の笑みが溢れました。

子どもたちは、土で汚れながらも時間いっぱいまで活動し、大地の恵みと偉大さに触れながら、収穫の喜びを味わうことができました。
次年度も、自然豊かなこの那須学園の地で様々な野菜の収穫を通しての学びの機会を継承していきたいと思えます。

☆収穫感謝祭

十一月十七日

秋の行事である収穫感謝祭を開催しました。那須学園では一年を通してお米、野菜、果物などの様々な食物を育てています。特に稲作には力を入れて取り組んでおり、種まき、田植え、草取り、稲刈り、はぎ掛けを子ども達、職員全員で行っています。また、毎日食堂棟の職員に温かく美味しい食事を作ってもらっています。収穫感謝祭はそういった日頃の食に関して感謝の気持ちを育むイベントです。

学園で一から育てた餅米を使い、餅つきを行いました。経験がなく初めての子どもが多い中、悪戦苦闘しながら餅をつきあげました。昼食につきたてのお餅、学園産の野菜をふんだんに使った豚汁を皆で食べました。会の中で食堂棟の職員、農場担当者に向けて、代表者が感謝の気持ちを伝えました。日常生活で忘れがちな大切な気持ちを、改めて思い出させてくれる良い行事となりました。



☆クリスマス会

十二月十七日

クリスマス会が十二月十七日に開かれました。各寮が力を入れた発表や、関東少年文化祭で披露した吹奏楽の演奏を、来て下さった保護者や関係機関の方々に発表しました。

各寮の発表ではどの寮も全員で協力して演じ、会場を盛り上げてくれました。吹奏楽では「糸」「ブラジル」「世界に一つだけの花」を披露し、盛大な拍手をいただきました。クリスマス会では皆で楽しい思い出を作ることができましたし、子どもたちの成長を強く感じていただけたと思います。今後関係機関の方、保護者をつなぐ良い機会にしていきたいと思えます。

☆席書大会

一月九日

年始めの恒例となっている席書大会。子どもたちが今後の目標や抱負の気持ちを込めた四字熟語を毛筆で認め、みんなの前で発表しました。事前の作文作成に苦労している児童もいましたが、今年も良い作品が多



くありました。特に最優秀賞の「衣錦環郷」は、描いた子どももの悲しみや叫びが上手に織り込まれており、自然と肯いてしまう発表に心打られました。もし、採点していることを忘れて無心で聴いていたら、思わず涙していたかもしれません。「何のために頑張っているのか」「なぜ今も頑張っているのか」という問いは、他の全ての子どももの問いになることでしょう。

最近目にしたニュースに、ある小学校で書道の未履修問題が取り上げられていました。日本の伝統文化である書道を次の世代に継承していくことはとても大切なことだと思います。これからも毎年続けていきたいです。



☆新年昼食会

一月九日に新年昼食会を行いました。普段は各寮で食事をしていましたが、この日はランチルームに全寮の子ども達と寮職員、本館職員、分校職員が集まり、お寿司や汁物、煮物、デザートを食べながら新年を祝いました。会話の中で新年の抱負を聞かれ、自分の目標をハキハキと答える姿も見られました。大勢で食べ

る雰囲気も特別感があって楽しかったようです。

学園では給食アンケートを実施しています。そこには各々の食べたメニューや苦手な食材、調理員への感謝の気持ち等について、熱いメッセージが書かれています。その中に「お寿司が食べたい」「生ものが食べたい」という意見もありました。普段の給食に生ものは出せないのが、久しぶりのお寿司も嬉しかったようです。できる範囲で工夫しながら季節の行事を執り行っていきたいです。



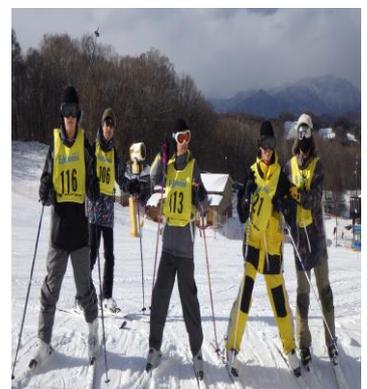
☆スキー教室

一月十二日、十九日 半数以上の子どもが未経験で、スキー教室までの体育の授業では、練習回数が少ない中、それぞれがスキー用具や動きとの格闘でした。

期待と不安が交錯する中、今年度も積雪の懸念をしながら、無事二日間の教室開催をすることができました。未経験者の子どもは、インストラクターさん達からの丁寧な指導を受けて、メキメキと上達、リフトに乗ってグレンデビューも果たしました。経験のある子どもは、限定されたコースながら、思い思いのシチュエーションを描いてスキーの爽快感を味わいました。

各自の振り返りには、それぞれの満足感や達成感が表されており、人生をとおしてウインタースポーツに

親しむ一助になれば良いと感じました。



☆立志式

二月三日 中学二年生は事前に「立志」についての意味や歴史を学ぶことから始め、将来の自分について作文を書き、準備をしました。

当日は分校や学園の職員に見守られる中、一人一人が将来の夢や目標について、緊張しながらも立派に発表することができました。また、校長先生からは大人になる準備として「言葉のもつ力」「勉強の大切さ」「目標を持つことの意義」について話をいただきました。

これからは国旗揚げ当番や朝礼の司会など二年生を中心に引っ張っていくこととなります。那須学園、そして沢分校の子どもとして、後輩の良き手本になれるように頑張ってください。

☆園内マラソン大会

二月九日 昨年度は積雪の中の実施でしたが、今年度は天候に恵まれた中、学園マ

ラソン大会を実施できました。園外のコースを男子四・二キロ、女子三キロの距離を、全員が無事に走り切りことができました。

例年より大会までの練習回数が少ない中、毎回自分との闘いに挑戦してきました。また、一人一役の役割を担当することで、チームに貢献する意識を育てると共に、マラソンを通じて、人間的成長を促すことを目標に取り組んできました。

日々の練習を通して培ってきた成果が、大会では発揮されたと感じます。自己ベストを更新した子どもはもとより、最終走者に学年や寮を問わず声援を送る姿に、チーム那須学の成長を感じずにはいられませんでした。

編集後記

徐々に春の訪れを感じ始める三月に入りましたが、まだ寒い日が続きます。那須学園の子どもは皆さまに見守られながら、新学期に向けて、希望を胸にそれぞれの目標に向かって歩んでいます。

本年度も様々なご支援・ご協力をいただき、本当にありがとうございます。今後子ども達に変わらぬあたたかいご支援をよろしく願っています。



育成課

齋藤・福田・黒川